

国勢調査から見る産業別人口の推移

区分	昭和35年		昭和40年		昭和45年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	人 46,602		人 49,637	% 6.5	人 49,725	% 0.2
第一次産業 就業人口比率	% 60.3		% 52.6	-	% 44.6	-
第二次産業 就業人口比率	% 20.7		% 26.4	-	% 31.4	-
第三次産業 就業人口比率	% 19.0		% 21.0	-	% 24.0	-

区分	昭和50年		昭和55年		昭和60年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	人 46,037	% △ 7.4	人 42,819	% △ 7.0	人 40,098	% △ 6.4
第一次産業 就業人口比率	% 34.7	-	% 28.3	-	% 23.4	-
第二次産業 就業人口比率	% 36.6	-	% 37.7	-	% 40.8	-
第三次産業 就業人口比率	% 28.8	-	% 34.0	-	% 35.8	-

区分	平成2年		平成7年		平成12年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	人 38,767	% △ 3.3	人 37,549	% △ 3.1	人 35,113	% △ 6.5
第一次産業 就業人口比率	% 17.7	-	% 14.6	-	% 13.5	-
第二次産業 就業人口比率	% 43.8	-	% 42.5	-	% 38.7	-
第三次産業 就業人口比率	% 38.6	-	% 42.9	-	% 47.8	-

区分	平成17年		平成22年		平成27年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	人 33,138	% △ 5.6	人 29,610	% △ 9.6	人 28,217	% △ 4.7
第一次産業 就業人口比率	% 14.0	-	% 12.6	-	% 11.5	-
第二次産業 就業人口比率	% 34.9	-	% 31.6	-	% 31.0	-
第三次産業 就業人口比率	% 51.1	-	% 55.8	-	% 57.5	-